

	目 標	指 導 要 点	備考
4月	1.職場に慣れ、精神的に安定する	1.病院・病棟の概要を知り、メンバーと知り合う 2.社会人・職業人としての自覚を持ち、生活を整える 3.院内の職務規定を知り、スタッフの一員としての自覚を持てる	
	2.業務の流れがわかり、チームの一員としての役割がわかる	1.院内の看護手順に基づき、指導看護師とともに基本的看護業務ができる 2.受け持ちチームの患者を知る 3.所属する看護方式がわかる 4.報告と記録の重要性がわかる 5.患者の日課を知り、看護業務の内容がわかる	
4～6月	1.患者の日常生活の援助ができる	1.看護ケアの優先度を考えながら行動ができる 2.院内の看護手順に基づき、正しい技術が提供できる 3.指導・助言を受けながら、特殊な処置・検査介助ができる	
	2.チームの一員としての役割が果たせる	1.看護計画に沿って実践できる 2.入退院の取り扱いができ、病棟内規定を患者・家族・面会者に説明できる	
	3.緊張が取れ、笑顔が見られ、自分らしさを出せる	1.受け持ち患者を通して自分の看護を振り返り、看護に対する考えを持つことができる	
7～9月	1.全体像をとらえ、個別性のある看護計画の立案ができ、実践ができる	1.予測を持った観察ができる 2.観察・情報からの異常の判断ができ、リーダーに報告ができる 3.自分で責任を持って計画が立案できる	
	2.看護師としての責任と自覚をもてる	1.初歩的ミスに注意を払うことができる 2.仕事の中で何を優先するか、考えられる 3.1日の反省ができる 4.ほかのメンバーに協力を求めることができる	
10～11月	1.危険防止への配慮ができる	1.患者の身に回りに危険物を置かないよう、配慮ができる 2.ベッドからの転落防止のための配慮ができる 3.自己抜管や自己抜去防止の為の対策をとることができる 4.挿管チューブなどの固定方法を工夫できる	夜勤の実施
	2.患者の急変時の対応ができる	1.救急カートの位置・内容・DCCの位置・仕様方法がわかる 2.患者の急変時、リーダーの指示に従って適切に行動が取れる 3.感染を防止する	
12月	1.チームメンバーの役割が再認識できる	1.チームリーダー、メンバーの役割についてフィードバックし、メンバーとしての責任を自覚し、行動できる	
	2.他部門との連携が取れる	1.カンファレンスで積極的に発言できる	
1～2月	1.チームリーダーの役割が理解できる	1.受け持ち以外のチーム内の患者の問題を把握し、観察のポイントや看護の必要性が理解できる 2.医師の治療方針を理解し、指示を正しく実施できる	
	2.自分の研究課題を見つける	1.疑問点・興味のあることを整理し、追及する 2.看護の実務を通してどんな学びであったか、自分自身を見つめることの意味を知り、日頃の看護の姿勢を振り返る	
3月	1.1年間のまとめをする	1.後輩を受け入れる心構えができる	